

**YANMAR**

News Release

2026 年 1 月 13 日

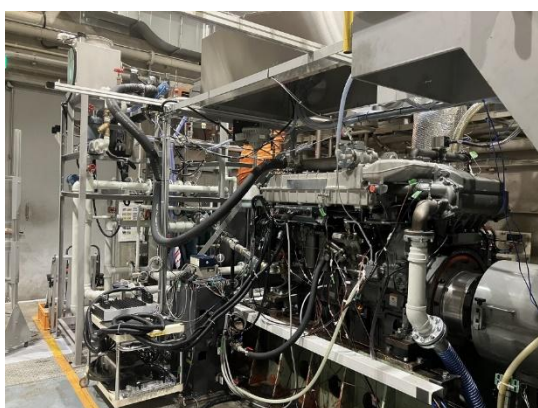
ヤンマーホールディングス株式会社

## 内航船舶向け「水素4ストローク高速エンジン」の 船級認証を日本海事協会より取得

ヤンマーホールディングスのグループ会社であるヤンマーパワーソリューション株式会社は、日本財団が推進する「日本財団ゼロエミッション船プロジェクト」に参画し、内航船舶向け「発電用パイロット着火式水素4ストローク高速エンジン」の使用承認証書※<sup>1</sup>ならびに NOx 鑑定書※<sup>2</sup>を、一般財団法人日本海事協会(菅 勇人会長、以下 NK)より、国内エンジンメーカーとして初めて取得しました。

2025 年に入り、パイロット燃料(点火源)として少量の HVO(水素化処理植物油)を用いた陸上実証試験を本格化させるとともに、実証運航の準備を進めています。その中で NK の検査を受け、使用承認を 2025 年 10 月、NOx 認証を同年 12 月に取得しました。なお、両認証の対象となるエンジン仕様は、“Electronically Controlled Gas Only Engine (Hydrogen)”となっています。今後は、実際の内航船へ、水素エンジン(2 台)をはじめとした必要な機器の搭載を行い、本年秋に予定している海上実証試験につなげます。

ヤンマーパワーソリューションは、海運業界のカーボンニュートラル化に貢献すべく、CO<sub>2</sub> の排出をほぼゼロにすることが可能な水素エンジンの社会実装に向けて取り組んでまいります。



＜「パイロット着火式水素4ストローク高速エンジン」実証機(左)、CG イメージ(右)＞

※1 使用承認: 船用機器の審査、試験および検査を行い、当該機器が規定に適合していることを製造者に対して証明すること。

※2 NOx 鑑定書: IMO(国際海事機関)が定める NOx(窒素酸化物)2 次規制を満足することを証明する書面。

## ■日本財団ゼロエミッション船プロジェクトについて

日本財団が、水素を燃料としたゼロエミッション船の開発に焦点を当て、当該技術開発を支援するプロジェクトです。この内、本コンソーシアムでは、水素エンジン開発を進める一方で、水素エンジン発電機とバッテリーの組み合わせによる「水素エンジン対応のハイブリッド電気推進船」を開発しました。これは「水素燃料エンジン」と「水素燃料供給システム」を、コンテナユニット型の水素発電装置として上甲板部分に搭載することができる新たな船舶です。船舶の開発・建造は、上野グループの海運会社である上野トランステック株式会社が担当しています。

### 【参考】

2024 年 10 月 2 日付ニュースリリース

[内航船舶向け「水素 4 ストローク高速エンジン」の実証試験において定格出力での運転に成功](#)

「日本財団ゼロエミッション船プロジェクト」の詳細

<https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/zeroemission2050?site=hl21201041>

### <ヤンマーについて>

1912 年に大阪で創業したヤンマーは、1933 年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。「大地」「海」「都市」のフィールドで、エンジンなどのパワートレインを軸に、アグリ、建機、マリネ、エネルギーシステムなどの事業をグローバルに展開。環境負荷フリー・GHG フリーの企業を目指し、顧客価値を創造するソリューションを提供しています。未来を育むヤンマーの価値観「HANASAKA」を基盤に、ブランドステートメントとして掲げる“A SUSTAINABLE FUTURE”を実現します。

詳しくは、ヤンマーのウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/> をご覧ください。

### <注記>

記載内容はリリース発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

---

### 【報道関係者お問い合わせ先】

ヤンマーホールディングス株式会社

マーケティング部 コーポレートコミュニケーション部

E-mail: [koho@yanmar.com](mailto:koho@yanmar.com)